

令和元年度

事業報告

公益財団法人 瀬戸市文化振興財団

目 次

I. 事業概要	1
II. 事業説明及び事業実績	
1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業 (公益目的事業1)	6
2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業 (公益目的事業2)	15
3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業 (公益目的事業3)	19
4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業 (収益事業1)	24
III. 庶務の概要	25
IV. 付属明細書	28

I. 事業概要

当財団は、令和元年度事業の実施にあたり、公益財団法人として公正な事業運営に努めるとともに、市民をはじめ皆様に親しまれ、満足いただける事業展開に心がけてまいりました。

一方で、国や市からの補助金を受け事業を実施する法人として、財務状況の分析を的確に行い、効率的な経営に努めるとともに、受益者負担による自主財源の確保にも積極的に取り組み、安定的かつ持続的な財団運営に努めているところです。

また、これまで瀬戸市の文化行政と目的を共有した事業展開を図り、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与するため全力で取り組んでまいりました。

特に令和元年度は、瀬戸市制施行90周年の節目の年であり、これを記念した事業を積極的に展開するとともに、文化ホールが7月から使用中止になったこともあり、文化ホールとは別の場所で音楽等を身近に感じていただけるような事業に新たに取り組むなど、幅広い年齢層の皆さんに文化芸術に触れていただく機会の充実に努めました。

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業 (公益目的事業1)

文化芸術の振興を図るため、瀬戸市の文化施設を活用してさまざまな分野の鑑賞事業や体験事業などを実施するとともに、市民が身近に文化芸術に触れる場を安定的に確保、提供することにより、ゆとりと潤いが実感できる豊かな市民生活に寄与することを目的に取り組みました。

【舞台鑑賞の機会を提供する事業】

文化ホール公演事業では、文化ホールが7月から耐震工事のため、4月から6月までの使用となり、主催公演の「清塚信也ピアノリサイタル」と、共催による「特選落語会」の2公演のみの開催となりました。「清塚信也ピアノリサイタル」は大変人気が高く、入場券は完売となり、多くの皆さんにご鑑賞いただきました。瀬戸蔵つばきホールにおいては、音楽や楽器をより楽しく知ってもらおうと子育て世代を対象に地元アーティストによる工夫を凝らしたコンサートを開催し、来場者にお楽しみいただきました。

また、気軽に音楽に接する機会として、陶壁クラシックコンサートや「Jazz Jazz つなぎ」など、演者と対話できる距離感を演出して開催したほか、陶壁クラシックコンサート関連事業として、企業等からの寄付を募集し、子どもと一緒に気兼ねなくコンサートに参加できるオトノワ事業を実施しました。これらの公演は、いずれもほぼ満席となるなど気軽に良質の音楽に触れることができる機会として人気は定着してまいりました。

小中学校の子供たちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験してもらうため、アーティストを派遣するアウトリーチ事業に新たに取り組む、音楽の楽しさやすばらしさを感じていただくことができました。

【美術鑑賞の機会を提供する事業】

美術館では、特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

このうち、特別企画展「小森忍・河井寛次郎・濱田庄司ー陶磁器研究とそれぞれの開花ー」では、陶磁器界の三天才とも称されたそれぞれが追い求めた美の形や、その個性と表現方法を紹介し、三人が確立した独自の陶芸の世界をご覧いただきました。

特別展では、「第3回瀬戸・藤四郎トリエンナーレー瀬戸の原土を活かしてー」や市民等が所有する北川民次作品を募集・展示した「没後30年 市民が愛した北川民次」のほか、日本遺産認定記念「旅する千年六古窯ー火と人、土と人、水と人が出会った風景 日本六古窯を辿る」、第20回を迎えた「にっぽん招き猫100人展」を記念した「平成から令和へ 日本招き猫大賞の20年」などを開催し、陶芸をはじめ多様な文化芸術を多くの来館者にご鑑賞いただきました。

また、これらの展示により関心を持っていただくための関連事業として、ワークショップや講演会、ギャラリートーク、北川民次のアトリエ公開などを実施しました。

新世紀工芸館では、陶芸やガラス工芸の今を紹介する施設として、第一線で活躍する若手作家等の多彩で創造性に溢れた作品を広く紹介する企画展を開催したほか、新世紀工芸館開館20周年を記念して、これまでの研修修了生の活躍を紹介する作品展を開催するなど、次世代に繋がる新たな陶芸、ガラス工芸文化の創造に努めました。

また、陶芸作品やガラス工芸作品に気軽に触れることのできるギャラリー展示にも心がけました。

瀬戸染付工芸館では、呉須と呼ばれる顔料による青一色の濃淡で表現する瀬戸染付の繊細で鮮やかな作品を展示する企画展を開催し、ご覧いただく機会を提供しました。

その他、令和元年5月にオープンした瀬戸信用金庫アートギャラリーの企画展示業務を受託し、瀬戸ゆかりの作家の作品の企画展示や瀬戸信用金庫所蔵の北川民次や瀬戸陶芸協会会員の作品展示を行い、身近に文化芸術に触れる機会の充実を図りました。

【体験活動の機会を提供する事業】

やきもの文化、技術などを多くの人々に知っていただくとともに、研修生の接客研修等の一環として、新世紀工芸館では、陶芸やガラス工芸に、初心者でも気軽に参加でき満足いただけるような工房体験を実施し、手づくりの楽しさを実感していただける機会としました。

また、瀬戸染付工芸館の染付体験では、さまざまなニーズに応じた、初心者から上級者まで気軽に体験でき、満足いただけるメニューの提供に努め、染付技術の理解と普及に繋げました。

文化体験講座では、文化団体の協力のもと次世代を担う子どもたちに様々な文化芸術を体験していただき、楽しい思い出づくりの一助とすることができました。

【国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業】

令和元年度は、スペインの陶芸作家と日本の画家を招聘し、滞在制作を行うアーテ

ィスト・イン・レジデンスを実施しました。滞在期間中は、招聘作家の作品の世界や創作活動の紹介を通して作家への理解を深めるため、スライドレクチャーや公開制作を行うとともに、招聘作家の指導のもと、粘土等を素材とした造形を体験するワークショップを開催するなど、市民等との交流の機会を提供しました。あわせて、美術館において滞在制作作品の展覧会も開催し、来場者にご鑑賞いただきました。

【文化芸術に触れる場の提供を行う事業】

文化ホールや文化交流館を文化芸術に親しむ場として安定的に提供し、文化団体等の主体的、創造的な活動を支援しました。

ただし、令和元年度は、文化ホールが7月から使用中止となったため、利用件数は大幅な減少となっています。また文化交流館についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月5日から臨時休館となった影響もあり、前年度と比較して利用件数で11.1%（301件）、利用者数で11.8%（15,434人）の減少となりました。

また、使用率（使用日数÷使用可能日数）から分析しますと、文化ホールでは、3か月間ですが68%程度で比較的高い使用率となっています。文化交流館の会議室等では、平均使用率が56%程度で、前年度より9%減少しました。特に和室と茶室の使用率が依然として低く、課題となっています。

今後とも、適正な管理及び運営に努め、施設利用の促進を図ってまいります。

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業（公益目的事業2）

陶芸やガラス工芸などに関する分野の専門知識、技能を習得する人材育成事業や創作、発表の機会を提供することで、市民の主体的な文化芸術活動を支援奨励することにより、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

【人材育成の機会を提供する事業】

陶芸やガラス工芸の創作活動の場である新世紀工芸館、瀬戸染付の保存、伝承の場である瀬戸染付工芸館の両施設では、次世代を担う作家の輩出を目指し、これまで多くの若者等を研修生として受け入れてきました。研修生が自ら課題を掲げ、外部講師などによる指導・助言を受けながら主体的に制作に励めるようサポートしました。

令和元年度の研修生の受け入れについては、大学等に積極的に募集PRを行ってきた効果もあり、新世紀工芸館では陶芸コース・ガラス工芸コースともに、新たに4人ずつ受け入れることができました。染付工芸館では、これまでの年齢制限をはずし応募条件を緩和しましたが、1人の研修生受け入れにとどまっております。今後とも、施設のPR強化を図るとともに魅力ある研修機関として研修生受け入れに向け積極的に取り組んでまいります。

【文化芸術活動を支援・奨励するための事業】

歴史を重ねてきた第72回美術展や第68回文芸発表会には、部門により差異はあるものの、令和元年度も多くの皆さんからご応募いただき、関心の高さが伺えます。今後もより多くの皆さんからご応募いただけるようPR活動などに取り組んでまいります。

【発表する機会を提供する事業】

瀬戸市文化協会と連携しながら文化の祭典を開催し、文化協会に加盟する60の文化芸術団体が日頃の研鑽の成果を発表され、今後の活動に繋げていただきました。

また、ふれあい芸術展では、市制施行90周年を記念し、「せと」を作品テーマとして、29団体と22個人による多彩な作品を展示することができ、来館者に楽しんで鑑賞いただける機会を提供できました。

さらに、いけばな展では、各流派による花の共演が来館者の目を引き、また趣のある陶祖公園などの茶室を会場に行われた茶会では、多くの方に茶の心にふれていただくことができました。

【将棋文化支援事業】

市民をはじめ多くの人々に、将棋の魅力や楽しさを伝えるとともに、将棋のまち瀬戸をアピールするため、瀬戸市や瀬戸将棋文化振興協会など関係団体とともに実行委員会を組織し、「瀬戸将棋まつり」を開催しました。当日は地元棋士である藤井聡太七段の地元初となる公開対局をはじめ、プロ棋士による指導対局、子供や一般の方を対象にした将棋大会などを行い、2日間で約3,200人の来場がありました。

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業（公益目的事業3）

瀬戸は平安後期から現代にかけて1000年余の歴史を持つ、国内を代表する陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史にとって重要な位置を占めると同時に、郷土の歴史にとっても重要な産業史であるといえます。

本市の最大の特徴である窯業の歴史についての調査、資料収集、資料整理、研究を通して、情報並びに学習活動の機会の提供を行いました。

また、市内で唯一の埋蔵文化財調査機関として、記録保存のための調査や学術調査を実施し、資料の保存や公開を行いました。

【埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業】

当財団の使命から、文化芸術活動の振興とともに文化財保護活動は、やきものを基軸とした一体的な事業展開が求められております。そのうち文化財保護活動では、調査、研究、保存、活用といった点において、さまざまな角度から成果を明らかにし、展示、公開など情報提供に取り組んでまいりました。

発掘、試掘、確認調査では、市内遺跡である若宮遺跡を始め7か所を調査し、貴重な資料が得られるとともに、今後出土品の整理を進め、成果報告書の作成とともに、保存、活用に繋げてまいります。

【窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業】

瀬戸焼を中心とした文化財や窯業史に関して情報提供することにより、窯業史研究の発展に資するとともに、郷土の文化財や歴史への興味を喚起し、知識教養を深めるため、瀬戸焼データベースの構築や研究紀要の発刊を行いました。

【文化財に関する学習活動の機会を提供する事業】

文化財に関する学習活動では、窯業史に関する講演会や瀬戸蔵ミュージアム等における企画展示、文化財・史跡の見学会などを通じて、郷土の歴史に関心を持ち次世代に伝える文化財思想の普及に努めたほか、小学校などに講師を派遣し、文化財や歴史についての理解を深める学習機会の提供に努めました。

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業1）

瀬戸市より管理運営を受託している文化センターの各施設について、空き時間の有効利用を図り、利用促進に繋げることを目的として、公益目的事業以外に貸与しました。

貸与実績の主な内容を見ますと、市役所等官公庁及び関係機関が、総会、大会、打合せ会議、全市的な催し物などに利用される場合のほか、民間企業並びに団体による健康診断業務、各種相談業務、セミナー、研修会、勉強会、会議など幅広く利用していただいております。

中心市街地からも近く駐車場も完備しており、施設利用には適していることから、例年、同程度の利用実績がありますが、今年度は、文化ホールの耐震工事や新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館で利用は減少しています。

今後とも、効率的な施設の維持管理に努め、一層の利用促進を図ってまいります。

※ 当財団が業務上関係する瀬戸市文化センター（瀬戸市美術館・文化交流館）及び瀬戸市新世紀工芸館、瀬戸染付工芸館、瀬戸蔵ミュージアム、瀬戸信用金庫アートギャラリーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年3月5日（瀬戸信用金庫アートギャラリーは3月6日）から臨時休館をしています。

II. 事業説明及び事業実績

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

(公益目的事業1)

(1) 舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催・共催公演事業）

① 文化ホール公演事業

内容：文化センター文化ホールを会場とし、各ジャンルや幅広い年齢層に対応した鑑賞型ホール事業を開催しました。

(ア) 主催公演

事業名	委託先	開催日	入場料	入場者数
清塚信也 ピアノリサイタル	(有)創芸	5/10 (金)	4,000 円 ※入場券完売	1,457 人

(イ) 共催公演

事業名	委託先	開催日	入場料	入場者数
特撰落語会 (三遊亭小遊三・ 三遊亭円楽)	エイフル企画 (株)	4/26 (金)	S 席 4,200 円 A 席 3,200 円	848 人

② 瀬戸蔵つばきホール公演事業

内容：瀬戸蔵つばきホールを会場とし、地域に縁のあるアーティストが出演して子育て世代を対象に舞台芸術を楽しんでいただくとともに教育など他分野と関わりをもつ事業を実施しました。

事業名	開催日	入場料	入場者数
いいもんせともんコンサート ピアニストのおしごと	8/4 (日)	一般 2,000 円 4 歳以上高校生以下 500 円	281 人

【関連事業】

(ア) いいもんせともんコンサート関連事業

ピアノ・ピアニストを知ってみよう

7月21日(日)午後2時から 文化交流館 22 会議室 31 人参加

(イ) いいもんせともんコンサート関連事業

大人のためクラシック講座

「芸術と社会」ショスタコーヴィチの生き方をおして

7月21日(日)午後5時から 文化交流館 12 会議室 4 人参加

③ 音楽鑑賞・音楽活動普及公演事業

内容： 文化ホールのロビーや美術館等を活用し、演者と対話できる距離間で上質なクラシック音楽やジャズ音楽を気軽に楽しむ機会を提供しました。

事業名	開催日	入場料	入場者数
陶壁クラシック 2019 春 マリンバとさまざまな楽器が織りなす春色クラシック	5/11(土)	500 円 ※入場券完売	104 人
陶壁クラシック 2019 春関連事業 音楽プログラム「オトノワ」みんなでリズムあそび	5/11(土)	無料 ※入場満員	84 人
Jazz Juzz つなぎ vol.3	5/31(金)	1,000 円 25 歳以下 500 円 ※入場券完売	132 人
陶壁クラシック 2019 夏 陶壁を彩る五つのハーモニー	6/30(日)	500 円 ※入場券完売	105 人
陶壁クラシック 2019 夏関連事業 音楽プログラム「オトノワ」音と世界に飛び出そう	6/30(日)	無料 ※入場満員	86 人
ノベルティ・こども創造館夏祭り関連事業 ノベルティミュージアムコンサート 夏を彩る瀬戸の音楽	8/12 (月・休)	無料	80 人
美術館ロビーコンサート トリオで奏でるチェロの世界	11/24(日)	無料 ※要美術館 入館料	120 人
瀬戸市・名古屋学院大学 地域創生包括連携協定記念事業 Jazz Juzz つなぎ vol.4 Christmas special version	12/15(日)	1,000 円 25 歳以下 500 円 ※入場券完売	171 人

④ 舞台芸術普及及び体験型事業

内容： 舞台芸術に関心を持つきっかけづくりとして、舞台芸術に関する講座やワークショップを開催しました。また、アウトリーチ事業として小中学校にアーティストを派遣し、子供たちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供しました。

(ア) いいもんせともんコンサート関連事業【再掲】

事業名	講師	開催日	場所	参加者数
ピアノ・ピアニストを知ってみよう	江川智沙穂	7/21 (日)	文化交流館	31 人

大人のためクラシック講座 「芸術と社会」ショスタコーヴィチの生き方をおおして	江川智沙穂	7/21(日)	文化交流館	4人
---	-------	---------	-------	----

(イ) 舞台芸術アウトリーチプログラム「アートでともだち」

実施校	派遣日	アーティスト	対象
幡山中学校	12/13(金)	石川貴憲(サクソ) 丸尾祐嗣(ピアノ) 鈴木豊大(パーカッション)	2年生 5クラス 200人
幡山西小学校	12/20(金)	同上	4年生 2クラス 60人

(2) 美術鑑賞の機会を提供する事業(企画展開催)

① 美術作品の展示を行う事業(瀬戸市美術館企画展)

内容： 美術館企画展事業として、特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

展覧会名	開催期間	入館料	来館者数
瀬戸市制施行90周年記念 せとものフェスタ2019 瀬戸市美術館特別展 「第3回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ —瀬戸の原土を活かして—」	4/20~5/26	一般 500円 高大生 300円	1,600人

展覧会名	開催期間	入館料	来館者数
瀬戸市制施行90周年記念 瀬戸市美術館特別展 「没後30年 市民が愛した北川民次」	6/1~7/28	一般 500円 高大生 300円	4,823人

【関連事業】

(ア) 北川民次アトリエ特別公開

場所：北川民次アトリエ

日時：6月15日(土)・16日(日) 午前10時~午後3時

参加者数：302人

(イ) スペシャルトーク「北川民次について」

場所：瀬戸市文化センター文化交流館22会議室

日時：7月7日(日) 午後1時30分~

参加者数：105人

講師：北川淑子氏、村田眞宏氏（豊田市美術館館長）、
市川櫻香氏（舞踊家）

(ウ) ギャラリートーク

場所：瀬戸市美術館展示室

日時：6月15日(土) 午後1時30分～ 参加者数30人

7月13日(土) 午後1時30分～ 参加者数37人

(エ) 版画ワークショップ

場所：瀬戸市文化センター文化交流館12会議室

日時：7月20日(土) 午前10時～・午後2時～

参加者数：各回10人(合計20人)

講師：和田小織氏(伊藤美術工房主宰、銅版画家)

展覧会名	開催期間	入館料	来館者数
瀬戸市制施行90周年記念日本遺産認定記念 瀬戸市美術館特別展「旅する千年六古窯－火 と人、土と人、水と人が出会った風景 日本 六古窯を辿る」	8/3～9/29	一般 500円 高大生 300円	2,957人
瀬戸市制施行90周年記念 瀬戸市美術館特別展 「平成から令和へ 日本招き猫大賞の20 年」			

【関連事業】

(ア) ギャラリートーク(日本六古窯を辿る展)

場所：瀬戸市美術館展示室

日時：8月24日(土) 午後1時30分～

参加者数：11人

(イ) 六古窯カフェ

場所：瀬戸市新世紀工芸館交流棟

日時：8月3日(土)～9月29日(日)

参加者数：1,702人

(ウ) 六古窯お茶セミナー

場所：瀬戸蔵多目的ホール

日時：9月14日(土)・15日(日)

参加者数：128人

展 覧 会 名	開催期間	入館料	来館者数
瀬戸市制施行90周年記念 瀬戸市美術館特別企画展 「小森忍・河井寛次郎・濱田庄司 ー陶磁器研 究とそれぞれの開花ー」	10/5～12/22	一般 500円 高大生 300円	3,231人

【関連事業】

(ア) スペシャルギャラリートーク

場所：瀬戸市美術館展示室

日時：11月24日(日) 午後1時30分～

参加者数：40人

講師：益子陶芸美術館学芸員 横堀聡氏、瀬戸市美術館長 服部文孝氏

(イ) ロビーコンサート「トリオで奏でるチェロの世界」【再掲】

場所：瀬戸市美術館ロビー

日時：11月24日(日) 午後6時～

参加者数：120人

(ウ) 茶話会

場所：瀬戸市文化センター文化交流館22会議室

日時：11月30日(土)・12月1日(日) 各日2回10名定員

参加者数：39人

講師：河井寛次郎記念館学芸員 鷺珠江氏

(エ) ギャラリートーク

場所：瀬戸市美術館展示室

日時：12月15日(日) 午後1時30分～

参加者数：15人

展 覧 会 名	開催期間	入館料	来館者数
瀬戸市美術館企画展 「石上久美子染色展」	1/5～3/1	一般 300円 高大生 200円	1,080人

展 覧 会 名	開催期間	入館料	来館者数
瀬戸市美術館特別展 「瀬戸国際セラミック&ガラスアート交 流プログラム 2019-2020 招聘作家作品 展」	2/29～3/4	一般 300円 高大生 200円	32人

()内は前年度

瀬戸市美術館 年間開館日数	281日 (307日)	年間入館者数	13,723人 (10,188人)
---------------	----------------	--------	----------------------

- ② 陶芸・ガラス工芸作品に特化して展示を行う事業（新世紀工芸館企画展）
 内容： 展示棟では、陶芸及びガラス工芸分野における作家を中心に、交流棟では、季節ごとにテーマを設けた企画展を開催しました。

(ア) 展示棟企画展 () 内は前年度

展 覧 会 名		開催期間	入館者数
ガラス企画展「火と大地と僕たちと。神代良明・角居康宏」展		3/23～6/16	1,582 人
デザイン-それぞれの思考- 吉田守孝・田上知之介		6/29～9/23	2,002 人
新世紀工芸館 20 年の歩み - 瀬戸市新世紀工芸館研修修了生作品展 P A R T 1		10/12～11/24	727 人
新世紀工芸館 20 年の歩み - 瀬戸市新世紀工芸館研修修了生作品展 P A R T 2		11/30～1/19	821 人
瀬戸市新世紀工芸館 第 16 期研修生修了作品展・第 17 期研修生作品展		1/25～3/4	1,141 人
工芸館展示棟 年間開館日数	258 日 (283 日)	年間入館者数	9,354 人 (11,369 人)

(イ) 交流棟企画展 () 内は前年度

展 覧 会 名		開催期間	入館者数
「もっと楽しむ新生活展 同時開催 五月人形展」		4/1～5/19	914 人
「夏の陶とガラス展」		5/25～7/21	1,021 人
「手しごとの味わい」		7/27～9/29	4,547 人
「-Passion for creation- 新世紀工芸館修了生作品展」		10/5～11/17	668 人
「冬のおくりもの展」		11/23～1/12	925 人
「雛・春・彩」		1/18～3/4	1,420 人
工芸館交流棟 年間開館日数	265 日 (267 日)	年間入館者数	9,495 人 (8,558 人)

- ③ 歴史的工芸品の展示を行う事業（瀬戸染付工芸館企画展）
 内容： 伝統的なやきものである「瀬戸染付」の歴史的な名品を展示する企画展を開催しました。

() 内は前年度

展 覧 会 名		開催期間	入場者数
「花と鳥－瀬戸染付の自然－」		3/27～7/1	1,336 人
「涼運ぶやきもの－染付」		7/3～9/23	1,265 人
「瀬戸染付の文様－写実の美－」		9/25～12/27	3,288 人
「瀬戸市収蔵染付展」		1/5～3/4	1,087 人
染付工芸館 年間開館日数	284 日 (308 日)	年間入館者数	6,976 人 (5,018 人)

④ 地域の美術作品の展示を行う事業（瀬戸信用金庫アートギャラリー）

内容： 瀬戸市にゆかりのある作家等の企画展示や瀬戸信用金庫が所蔵する北川民次及び瀬戸陶芸協会会員の作品展示を行いました。

展 覧 会 名		開催期間	入場者数
「北川民次と瀬戸信用金庫カレンダー」		5/31～7/21	2,264 人
「瀬戸信用金庫陶芸コレクション展」		7/27～8/18	355 人
「長江録彌・亀谷政代司彫刻展」		8/24～9/16	670 人
「伊藤高義 瀬戸百景展」		9/21～10/14	482 人
「瀬戸市無形文化財保持者展」		10/19～11/24	596 人
「栗木伎茶夫展」		11/30～2/2	558 人
「写真展 北川民次の表情 伊里一彦氏撮影による」		2/8～3/4	223 人

(3) 体験活動の機会を提供する事業

① 体験活動を行う事業

内容： やきもの文化や技術を伝えるため、各種体験教室等を開催しました。また、次代を担う子どもたちを対象として文化芸術を体験する機会を提供するため、文化団体と連携して体験講座を開催しました。

(ア) 新世紀工芸館体験事業

() 内は前年度

事業名	開催日	参加者数
陶芸体験	原則毎月第1・第3 日曜日開催	183人 (213人)
ガラス体験	年7回開催	55人 (114人)

*特別陶芸体験(絵付け) 10/10(大口南小 47人)

(イ) 瀬戸染付工芸館体験事業

() 内は前年度

事業名	開催日(期間)	参加者数
瀬戸染付体験教室(兜、角皿、五寸皿、鉢、 花器、大皿、招き猫、風鈴、表札、干支、ひ な人形等)	年13回開催	259人 (248人)
常設染付体験(誰でも気軽に瀬戸染付!)	通年	321人 (393人)

(ウ) 文化体験講座

() 内は前年度

事業名	開催日(期間)	参加者数
夏休み期間中の子供向け講座(日本舞踊、 マジック、書道、囲碁、箏、尺八、押し花、 ヴィオリラ、津軽三味線、水彩画、茶道、陶 芸、フラダンス、彫刻、文芸、漢字)	7月～8月	262人 (319人)

(4) 国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業(国際セラミック&ガラス交流プログラム事業)

内容: スペインの陶芸作家と日本の画家を瀬戸に招聘し、滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスを実施しました。また、招聘作家の作品の世界や創作活動の紹介を通して作家の理解を深めるとともに、招聘作家の指導のもと、粘土等を素材とした造形を体験する機会を提供しました。あわせて、滞在制作作品の展覧会を開催しました。

また、アーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業の運営課題等をテーマにした研究会に参加しました。

(ア) アーティスト・イン・レジデンス

招聘作家	分野	国名	滞在期間
デボラ・アビスンダ・カニサレス	陶芸	スペイン	8/19～9/29
安藤 正子	画家	日本	7/20～9/20

(イ) スライドレクチャー・公開制作

招 聘 作 家	開催日	開催場所	参加者数
デボラ・アビスンダ・カニサレス	9/21	新世紀工芸館工房棟	40人
安藤 正子			

(ウ) ワークショップ

招 聘 作 家	開催日	開催場所	参加者数
デボラ・アビスンダ・カニサレス	9/7	新世紀工芸館工房棟	9人

(エ) 招聘作家作品展【再掲】

招 聘 作 家	開催日	開催場所	参加者数
デボラ・アビスンダ・カニサレス	2/29～ 3/4	瀬戸市美術館	32人
安藤 正子			

(オ) A I R 研究会

○ A I R 評価交流会

開催日：10月10日(木)

場 所：京都経済センター

内 容：研究者による調査結果報告、参加者によるグループワーク

○ A I R 研究会

開催日：11月29日(日)、30日(月)

場 所：東京女子美術大学

内 容：研究会(情報や課題の共有)、研究者らによるアーティストトークショー

(5) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業(文化施設運営事業)

内容：瀬戸市から指定管理者として受託した文化施設を市民の文化活動の場として提供しました。

① 市民文化に触れる場の提供(地域文化広場運営事業)

(文化ホール)

会 場	令和元年度		前年度		対前年度比(%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
ホール	61	19,093	261	96,212	23.4	19.8
リハーサル室(1)	35	1,401	154	5,748	22.7	24.4

リハーサル室(2)	23	298	99	1,333	23.2	22.4
リハーサル室(3)	13	124	62	745	21.0	16.6
小計	132	20,916	576	104,038	22.9 -444件	20.1 -83,122人

※ 文化ホールは、令和元年7月1日から、耐震工事のため使用を中止しています。

(文化交流館)

会 場	令和元年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数 (人)	件数(件)	人数 (人)	件数	人数
11会議室	355	14,097	406	14,053	87.4	100.3
12会議室	239	13,618	275	14,487	86.9	94.0
13会議室	465	12,322	492	13,745	94.5	89.6
21会議室	164	9,107	201	10,640	81.6	85.6
22会議室	238	17,353	285	19,867	83.5	87.3
31会議室	212	22,500	247	25,154	85.8	89.4
32会議室	316	4,740	327	4,652	96.6	101.9
ギャラリー	180	15,140	208	20,597	86.5	73.5
和 室	148	4,663	166	5,394	89.2	86.4
茶 室	97	2,032	108	2,417	89.8	84.1
小計	2,414	115,572	2,715	131,006	88.9 -301件	88.2 -15,434人
総合計	2,546	136,488	3,291	235,044	77.4 -745件	58.1 -98,556人

②工芸文化に触れる場の提供 (新世紀工芸館運営事業)

展 覧 会 名	開催期間	開催場所	入場者数
セラミックアート招き猫展 日本招き猫大賞作家展	9/28~10/6	展示棟	3,081人

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業

(1) 人材育成の機会を提供する事業 (人材育成事業)

内容： 新世紀工芸館は陶芸・ガラス工芸の創作活動の場として、また、瀬戸染付工芸館は瀬戸染付の技術の保存・伝承を図る場として、技術・技能を習得するための研修事業を行いました。

(ア) 工芸分野における人材育成を行う事業（新世紀工芸館）

コース	16期生	17期生	研修生計
陶芸コース	1人	4人	5人
ガラス工芸コース	0人	4人	4人

展覧会名	開催期間	開催場所	入館者数
瀬戸市新世紀工芸館 第16期研修生修了作品展・第17期研修生作品展【再掲】	1/25～3/4	新世紀工芸館 展示棟	1,141人

(イ) 瀬戸染付技術における人材育成を行う事業（瀬戸染付工芸館）

29年度入館生	30年度入館生	元年度入館生	研修生計
0人	0人	1人	1人

展覧会名	開催期間
「瀬戸染付工芸館修了生作品展」	4/1～3/4
「新進染付作家作品展」	4/1～3/4

(2) 文化芸術活動を支援・奨励するための事業

① コンクール（美術展・文芸発表会）

(ア) 美術作品のコンクールを行う事業（第72回瀬戸市美術展）

内容： 日本画、洋画、彫刻、陶芸、書道、写真、工芸美術の7部門で作品を広く公募し、優れた作品を表彰するとともに、入選作品は展示を行いました。

部門	応募点数（内入選数）		美術展開催期間・場所
	令和元年度	平成30年度	
日本画	19(17)	17(14)	10/23(水)～27(日) 入場者数 1,816人 (前年度 1,909人) 文化センター文化交流館
洋画	115(100)	120(97)	
彫刻	14(13)	12(11)	
陶芸	32(32)	36(32)	
書道	19(19)	23(21)	
写真	129(102)	138(108)	

工芸美術	30(30)	29(22)	
合 計	358(313)	375(305)	

(イ) 文芸作品のコンクールを行う事業 (第68回瀬戸市文芸発表会)

内容： 俳句・短歌・川柳・詩の部門で作品を公募し、優れた文芸作品は表彰するとともに、文芸誌「窯火」を発刊し作品を紹介しました。また、講師を招き記念講演会を開催しました。

() 内は前年度

部 門	選者選句	自選句	開催日・会場
俳 句	≪一般の部≫ 応募句数 468 句 (533 句) 特選 12 句、入選 64 句 ≪小中学生の部≫ 応募句数 674 句 (691 句) 特選 12 句、入選 96 句	応募句数 47 句 (221 句)	11/4(月・振替休日) 表彰式 記念講演会 荻原裕幸氏
短 歌	≪一般の部≫ 応募歌数 338 首 (369 首) 特選 6 首、入選 48 首 ≪小中学生の部≫ 応募歌数 79 首 (36 首) 特選 6 首、入選 12 首	応募歌数 33 首 (130 首)	参加者数 約 80 人 文化センター 文化交流館
川 柳	≪一般の部≫ 応募句数 491 句 (450 句) 特選 6 句、入選 32 句 ≪小中学生の部≫ 応募句数 426 句 (149 句) 特選 6 句、入選 28 句	応募句数 40 句 (195 句)	
詩	≪一般の部≫ 応募詩数 34 編 (49 編) 特選 2 編、入選 6 編 ≪小中学生の部≫ 応募詩数 8 編 (20 編) 特選 2 編、入選 3 編	応募詩数 6 編 (9 編)	

【応募総数】 選者選 2,518 点 (特選 52 点 入選 289 点)
 自選 126 点

※ 第68回から、自選部門の応募作品数を一人1句(首・編)に変更しました。(これまでは、一人3句(首)・2編)

(3) 発表する機会を提供する事業（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

内容： 市民の文化芸術活動を促進するため、邦楽、詩吟と民謡、洋楽Ⅰ、洋楽Ⅱの4部門で「文化の祭典」を実施しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
文化の祭典 「邦楽」	5/19(日)	約 550 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「詩吟と民謡」	6/2(日)	約 550 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽Ⅱ」	6/9(日)	約 650 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽Ⅰ」	6/23(日)	約 500 人	文化センター 文化ホール

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（ふれあい吟行会）

内容： 俳句・短歌・俳句の題材を求めて、活動に勤しむ仲間同士が近郊の景勝地を訪問する吟行会を開催しました。後日、成果は作品集としてまとめ配布することにより、今後の活動の一助としました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
ふれあい吟行会	5/24(金)	62 人	大池寺他（滋賀県甲賀市）

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の部門において、市内で活躍する作家と市内文化団体のコラボレーションによる芸術展等を開催しました。また、市内文化団体による「書道展」「いけばな展」「市民茶会」をそれぞれ開催しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
陶祖茶会	4/20	92 人	陶祖公園「茶室竹露庵」
書道展	5/10～12	304 人	文化センター 文化交流館
市民茶会	5/12	492 人	文化センター 文化交流館
ふれあい芸術展	10/30～11/3	約 700 人	文化センター 文化交流館
ふれあい茶会	11/1～11/3	222 人	文化センター 文化交流館
新春いけばな展	1/25・26	約 500 人	文化センター 文化交流館
新春茶会	1/25・26	約 501 人	文化センター 文化交流館

(4) 将棋文化支援事業

内容： 将棋を通じた伝統文化の継承や知識の普及向上を図るとともに、地元棋士を応援するため、関係団体による実行委員会を設置し「瀬戸市制施行 90 周年記念 瀬戸将棋まつり」を開催しました。

会場：瀬戸市文化センター 5/25 (土)・26 (日) 全体参加者数 約 3,200 人

事業名	開催日	参加者数
瀬戸将棋まつり 公開対局 木村一基九段 vs 藤井聡太七段	5/25(土)	約 1,300 人
〃 斎藤慎太郎王座 vs 菅井竜也七段	5/26(日)	約 600 人
プロ棋士による指導対局	5/25(土) 5/26(日)	106 人 168 人
第 3 回瀬戸こども将棋大会	5/25(土) 5/26(日)	59 人(見学者 約 90 人) 106 人(見学者約 100 人)
一般者将棋大会	5/25(土) 5/26(日)	71 人 38 人

※ 棋士の肩書は当時のもの

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業（公益目的事業 3）

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業（埋蔵文化財調査事業）

内容： 埋蔵文化財を適切に保護し活用するために、発掘調査や重要遺跡の保存のための試掘調査を行い、その考古学的な調査結果・研究成果を報告書にまとめて公開するとともに、出土遺物を適切に整理・保管し博物館展示等に活用できるようにしました。

(ア) 埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や試掘調査を行う事業（発掘調査）

	市内遺跡発掘調査	市内遺跡発掘調査
遺跡名	若宮遺跡(発掘調査)	内田町遺跡(試掘調査)
所在地	瀬戸市若宮町	瀬戸市三沢町
調査面積	1 4 7 m ²	3 6 m ²
遺跡の性格	散布地	集落跡
遺跡の時期	古墳時代	縄文時代・中世
主な遺構	掘立柱建物・焼土溜り	ピット
主な遺物	須恵器・土師器	陶器

	市内遺跡発掘調査	市内遺跡確認調査
遺跡名	石田遺跡(確認調査)	今村城跡(確認調査)
所在地	瀬戸市池田町	瀬戸市共栄通
調査面積	7 m ²	48 m ²
遺跡の性格	集落跡	城跡
遺跡の時期	古代・中世	戦国時代
主な遺構	なし	堀
主な遺物	土師器・陶器	陶磁器

	金萩遺跡他確認調査	金萩遺跡他確認調査
遺跡名	金萩遺跡	I-9号窯跡・I-G-10窯跡
所在地	日進市北新町	日進市北新町
調査面積	17 m ²	8 m ²
遺跡の性格	集落跡	窯跡
遺跡の時期	奈良・平安時代	平安・鎌倉時代
主な遺構	なし	なし
主な遺物	須恵器	なし

	金萩遺跡他確認調査
遺跡名	新規窯跡
所在地	日進市北新町
調査面積	28 m ²
遺跡の性格	窯跡
遺跡の時期	鎌倉時代
主な遺構	窯体・灰原
主な遺物	山茶碗

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

遺跡名	所在地	発掘年度
穴山窯跡	瀬戸市山路町	平成30年度
O-G-17号窯跡	日進市藤塚	平成30年度

(ウ) 成果をまとめた報告書を刊行し公開する事業（報告書作成）

報告書名	体裁	発行数
第70集 折戸(O)-G-17号窯跡発掘調査報告書	A4版 72頁	300冊

(2) 窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業

(ア) 瀬戸焼データベースの作成・情報提供を行う事業

内容： 全国の自治体、財団等が発刊した受領図書から瀬戸焼に関する情報を抽出し、全国から出土した瀬戸焼の種類や時代ごとに抽出可能なデータベースの構築、成果を公表するもので、平成31年度は再構築作業を行いました。

・新規図書登録 1,123件

(イ) 瀬戸焼を中心とした文化財に関する情報提供を行う事業

内容： 「埋蔵文化財センター研究紀要 第22輯」を刊行しました。

(3) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業（普及啓発事業）

(ア) 瀬戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業（歴史講演会）

演 題	講 師	
都市江戸で使われた陶磁器－江戸中期における需要と多様化－	成瀬晃司氏（東京大学埋蔵文化財調査室助教）	
開催日	開催場所	入場者数
令和元年11月16日（土）	愛知県陶磁美術館講堂	約60人

(イ) 瀬戸焼をテーマとした企画展示を行う事業（文化財企画展）

展 覧 会 名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
陶器生産の変革－江戸中期の瀬戸窯と美濃窯－	11/9～ 12/22	愛知県陶磁美術館ギャラリー	無料	2,099人

【関連事業】

○展示説明会

場所：愛知県陶磁美術館ギャラリー

日時：11月16日(土)・12月14日(土)

参加者数：合計約70人

(ウ) 瀬戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業（瀬戸蔵ミュージアム常設展示）

内容： 瀬戸の伝統産業であるやきものづくりを核に、瀬戸の特徴的な建物のジオラマ復元や窯業関連道具の展示及び、瀬戸焼の歩みなどを紹介する常設展示の一部入れ替えを行いました。

(エ) 歴史・発掘調査成果等の企画展示を行う事業（文化財企画展）

展覧会名	開催期間	開催場所	入館者数
ガラス乾板で写された昔の瀬戸の風景	1/26～ 4/21	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	11,989人 (4/1～21は 1,032人)
新収蔵品展 2012-2018	2/9 ～5/12	瀬戸蔵ミュージアム 企画展示室	12,016人 (4/1～5/12 は3,405人)
愛知県陶磁器技能士会展	4/27～ 7/7	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	6,742人
新出土品展 古代タウンわかみや	5/18～ 8/25	瀬戸蔵ミュージアム 企画展示室	8,828人
土の詩 —愛陶工陶芸部会展—	7/13～ 9/29	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	8,866人
猫のポット展	8/31～ 11/17	瀬戸蔵ミュージアム 企画展示室	9,946人
秋の窯めぐり —赤津・品野・水野の窯屋—	10/5～ 11/10	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	3,800人
千峰園 伊藤四郎左衛門 ～窯屋の経営と名望家としての横顔～	11/23～ 2/16	瀬戸蔵ミュージアム 企画展示室	10,296人
むかしの道具展	11/16～ 2/24	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	13,046人

新山 SHINYAMA －近代の本業－	2/23～3/4	瀬戸蔵ミュージアム 企画展示室	1,462 人
SAMS 陶展	2/29～3/4	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	292 人

入館料 大人 500 円(10/1 から 520 円)

高大生・65 歳以上 300 円(10/1 から 310 円)

(オ) 文化財、史跡の見学会等を行う事業（文化財見学会）

事業名	開催日	内容	参加者
瀬戸の古墳Ⅱ (2 回目)	6/1(土)	東谷山と水野の古墳を歩く	27 人
せと歴「秋の馬ヶ城 自然と歴史を巡る」	11/30(土)	椿窯跡の見学とその周辺の植生を見て歩く	20 人
せと歴「陶器生産の変革 中世窖窯から近世連房まで」	12/14(土)	愛知県陶磁美術館を会場に、瀬戸焼の歴史をたどる	22 人

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業（講師等の派遣）

依頼者	派遣日	内容	対象
幡山東小学校	4/23(火)	瀬戸市内の出土品に関する体験学習、土器観察	6 年生 74 人
幡山西小学校	5/7(火) 9(木) 10(金)	瀬戸市の出土品についての説明・体験学習、埋蔵文化財センターの仕事についての説明等	6 年生 107 人
水野小学校	5/8(水)	古墳時代を中心とする瀬戸市の出土品についての説明・体験	6 年生 84 人
陶原小学校	5/15(水)	6 年生社会科の歴史学習・総合的な学習の地域学習「瀬戸の古墳を知ろう」	6 年生 112 人
八幡小学校	5/20(月) 21(火)	6 年生社会科の歴史学習・総合的な学習の地域学習「瀬戸の古墳を知ろう」	6 年生 43 人
品野台小学校	5/24(金)	上品野蟹川遺跡出土品に関する体験学習等	6 年生 13 人

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業1）

当財団が管理運営している文化センターの利用促進や空き時間の有効利用を図るため、公益目的事業以外に利用する個人や団体などに貸与しました。

Ⅲ 庶務の概要

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回 令和元年 5月22日	(1) 平成30年度事業報告に関する件 (2) 平成30年度決算報告に関する件 (3) 令和元年度収支予算書の変更に関する件 (4) 第8回定時評議員会招集に関する件 (5) 職務執行状況報告	原案どおり 可決 " " " " 了承	文化センター 文化交流館 21会議室
第2回 令和2年 2月20日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団財務規程の一部を改正する規程に関する件 (2) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団嘱託職員就業規程の一部を改正する規程に関する件 (3) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団臨時職員就業規程の一部を改正する規程に関する件 (4) 令和元年度収支予算書の変更に関する件 (5) 令和2年度事業計画書に関する件 (6) 令和2年度収支予算書に関する件 (7) 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (8) 臨時評議員会招集に関する件 (9) 職務執行状況報告	原案どおり 可決 " " " " " " " " " " 了承	文化センター 文化交流館 21会議室
第3回 令和2年 3月6日	(1) 臨時評議員会招集に関する件	原案どおり 可決	書面審議

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第8回定時 令和元年 6月13日	(1) 平成30年度事業報告に関する件 (2) 平成30年度決算報告に関する件 (3) 令和元年度収支予算書の変更に関する件	原案どおり 可決 〃 〃	文化センター 文化交流館 21会議室
第1回臨時 令和2年 3月30日	(1) 令和元年度収支予算書の変更に関する件 (2) 令和2年度事業計画書に関する件 (3) 令和2年度収支予算書に関する件 (4) 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (5) 監事の選任に関する件	原案どおり 可決 〃 〃 〃 戸田仁司を 選任	瀬戸市役所 4階庁議室

(3) 監査会

実施年月日	監査事項	監査結果	会場
令和元年 5月13日	平成30年度事業報告及び決算	適法適正 処理	文化センター 文化交流館 21会議室

(4) 役員

役職名	氏名	任期
理事長	伊藤 保徳	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
副理事長	亀谷 政代司	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
常務理事	加藤 慎也	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	横山 彰	平成31年2月28日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	水野 和郎	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

理事	二宮 あづさ	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	太田 公典	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	加藤 唐三郎	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	加藤 和守	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	加藤 勝之	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監事	小澤 修	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監事	山崎 康永	平成30年6月21日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(5) 評議員

役職名	氏名	任期
評議員	青山 一郎	平成28年6月9日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	宮本 雅美	平成28年6月9日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	長江 重和	平成28年6月9日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	杉山 仁朗	平成28年6月9日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	鈴木 政成	平成28年6月9日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	田中 博晶	平成28年6月9日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	蟹井 富貴	平成28年6月9日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	安田 文吉	平成28年6月9日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 令吉	平成30年4月27日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	涌井 康宣	平成31年4月1日から令和元年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(6) 職員数

区 分	事務局		
	業務課	埋蔵文化財センター	計
事務局長	1人(派)		1人
課長・所長	1人(派)	1人	2人
課長補佐・副所長		1人	1人
係長・主任	1人(派)	2人	3人
主事	1人(派)	1人(8月退職)	2人
嘱託	5人		5人
臨時(常勤)	2人	1人	3人
計	11人	6人	17人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

区 分	管理事務所			
	文化センター	新世紀工芸館	瀬戸染付工芸館	計
管理事務所長	1人	1人(派)	1人(派・兼)	2人
嘱託	6人	3人	2人	11人
臨時(常勤)		3人		3人
計	7人	7人	2人	16人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

IV 附属明細書

事業報告に係る重要な事項は全て前節までに記載してあるため、附属明細書として記載する事項はありません。